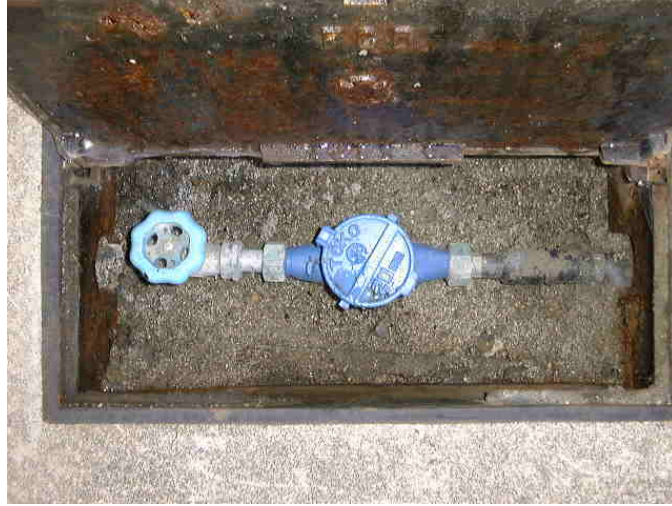




ケルップの取り替え

1、メーターボックスを開けて止水栓のハンドルを時計回りにまわして水を止めます。



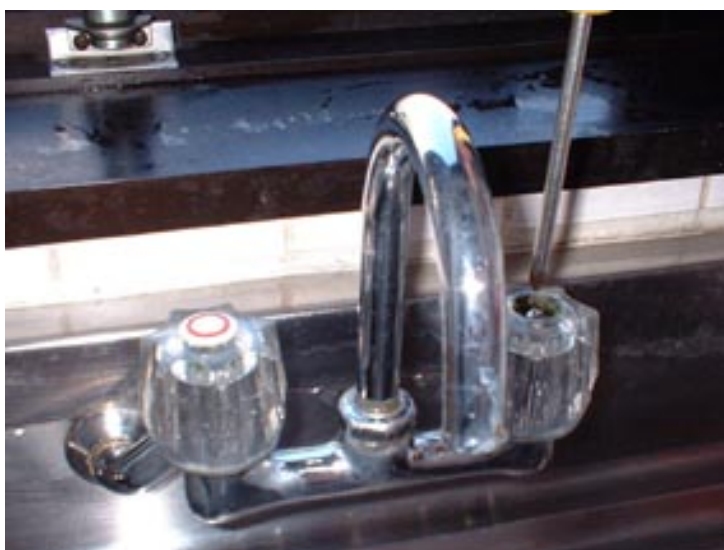
(メーターボックス内に止水栓が取り付けられていない場合は、メーター手前に設置してある止水栓ボックスを開け、専用の開栓キーで時計回りにまわして水を止めます。)



注1・・・メーターボックスおよび止水栓ボックスは、色や形がメーカー等により多少異なります。

注2・・・止水栓ボックスの専用の開栓キーは、ホームセンター等で販売しています。

2、蛇口を全開にし、水が出ないことを確認した後、ハンドルの上についているキャップをマイナスドライバー等で取り外します。



3、キャップを取り外すとネジがありますので、みぞの大きさに合ったプラスドライバーで反時計回りにまわしてネジを解き、ハンドルを上引き抜きます。

4、ハンドルを引き抜くと心棒が見えます。それを押さえている袋ナットをプライヤーやモンキーレンチを使って、反時計回りにまわしてはずします。



5、心棒を抜くとケレップが見えますので、ピンセットやラジオペンチなどで軸の部分をつまみ、取り出します。

6、新しいケレップと交換します。
(こまの形をした金属部分をケレップ、ゴムの部分をパッキンと呼び、総称としてケレップといいます。)
またケレップにはパッキン部の形状により、通常タイプと節水タイプとがあります。



通常タイプ



節水タイプ

節水タイプは通常タイプと比べ同じ開度での流出量が少なくなる形になっています。

先端の出っ張り部分を切り取ることにより、通常タイプと同様の流出量を得ることができます。

(加工の際は、くれぐれも怪我をしないよう、ご注意ください)

7、逆の手順で組み立てます。

注・・・心棒を押さえる袋ナットを締めすぎると、開け閉めが硬くなります。
ハンドルを仮付けしてまわし、適切な硬さに調整しましょう。

8、蛇口を少し開けた状態で止水栓をあけます。
その後何度か蛇口の開け閉めを行い、異常がないか確認しましょう。

これでケレップの取替えは完了です。